

「これからもずっと元気で」

野口幹夫

太田さんは またいいテーマをくれた。しばらく考え込んでしまう。

人生 100 歳時代。その中で「ずっと元気で」いる意味は何だろうか。

周りの人に迷惑をかけないように 元気でいるということも確かに意味がある。でもそれでは
つまらない。

ここまで馬齢を積み重ねて来たその重みを
周りにお返しできなければ意味がない。そのため
の「ずっと元気で」ありたい。



専門知識はもう忘れてしまった。人生の稼ぎ時の経験は懐かしいが、思い出に過ぎない。

でも確かなことは いろいろと知らないことにつつつかって なんとなく乗り越えてきた
なという自信が、心の底にたまっていることだ。

そのずぶとさで、これからも未知のことにつつつかっていけるという ささやかな自信がで
きている。楽しい 心躍る未知の領域、今からもそれを見つけ出してそこに入り込んでいこ
う。

それが人生 100 年をめざす我々の生きる意味であり生きがいなのだ。

自分にとって未知と見えているどんな領域にも そこには先輩や専門家が必ずいる。道案内

をしていただくためにまずその先輩を探すことから始めることも知っている。やり方は馴れたものだ。

そしてその領域を探っていくと あるいは素人らしい新鮮な発見があるかもしれない。そんな時は歓喜の声をあげよう。

そのような人生 100 年、そのような生きかたをしていくとき、自分の周りに自然な「気」のエネルギーが発散し、それがささやかなお返しとなっていることに気づく。

「これからもずっと元気で」生きよう。